

2021年10月17日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**  
第64巻第29号(通算3257号)  
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

# しゅうほう 週報

教会標語

かみさま ひと とも  
神様がすべての人と共におられる  
ことを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

[kyuho-church@koinonia.or.jp](mailto:kyuho-church@koinonia.or.jp)

主任担任教師・牛田 匡 牧師  
担任教師・水谷 憲 牧師  
隠退教師・小林 達夫 牧師

この希望が失望に終わることはありません。私たちに与えられた聖霊によって、  
神の愛が私たちの心に注がれているからです。(ローマの信徒への手紙 5:5)

## せいらいこうりんせつ だい しゅうじつれいはい 聖霊降臨節 第22主日礼拝

れいはい ちゅうけいはいしん  
《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも  
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

ぜん そう もくとう ちよさくけんしやうめつ  
前奏(黙禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば しへん へん せつ  
招きの詞 詩編 104編 24節

きんぴ か ばん そうぞう しゅう  
賛美歌 21-362番「創造の主」(©JASRAC)

せいしょ き しょう せつ  
聖書 ヨブ記 23章 1-9, 16-17節

いの ばん わたし  
お祈り 賛美歌 21-563番「ここに私はいます」(©JASRAC)

かみ ひ たいおう むかいじまでんどうしよ おかじま ちひろ でんどうし  
メッセージ「神(非)対応」 向島伝道所・岡嶋千宙伝道師

きんぴ か ばん しゅう き しゅうく  
賛美歌 21-90番「主よ、来たり、祝したまえ」(©JASRAC)

しゅう いの ばん てん わたし ちち きやうだんさんびかかいていいんかい  
主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

ささげもの  
献げ物(\*)

は けん ばん かみ めぐ う せつ  
派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅうく ぶく おかじま ちひろ でんどうし  
祝福 岡嶋千宙伝道師

こう そう ばん ちよさくけんしやうめつ  
後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©著作権消滅)

ほう こく ページ さんしやう  
報告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、せきにお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた ささ  
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 詩編 104 編 24 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

24 主よ、あなたの業わざはいかに豊かなことか。  
あなたは知恵によってすべてを造られた。  
地はあなたの造られたもので満ちている。

聖書 ヨブ記 23 章 1-9, 16-17 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

1 ヨブは答えた。

2 今日もまた、私の不平は激しく  
私の手は嘆きなげのゆえに重い。

3 私は知りたい。

どうしたら、私はその方に会えるのか  
御座みざにまで行けるのか。

4 私は御前みまえで訴えを並べ  
口を極めて抗議したい。

5 私はその方の <sup>a</sup>答えを知り  
私に言われることを悟さとりたい。

6 その方は強大な力を発揮はつきして  
私と論争するだろうか。

いや、きっと私を心に留めてくださるだろう。

7 そこでは、正しい人がその方と論じることができ  
私は永遠に裁きから解放される。

8 しかし、私が東に進んでも、その方はおらず  
西に行っても、認めることはない。

9 北でその方が <sup>b</sup>事をなしても、私には見えず  
南で向きを変えても、見ることはできない。

16 神は私の心を弱くし  
全能者は私をおびえさせる。

17 暗闇を前にしても  
目の前を闇で覆われても  
私が滅ぼされることはない。

(脚注 a : 直訳「が答える言葉」、b : 別訳「身を隠して」)

## 《先週のメッセージより》10月4日 聖霊降臨節第21 主日礼拝

「隣人を自分のように大切にする」

牛田 匡 牧師

聖書：ローマの信徒への手紙 13章 1-10節

ユダヤ人たちは日々の生活の中で守るべき、何十、何百という数の律法（掟）を持っていました。中でも、最も重要な掟、戒めとしていたのは「十戒」と呼ばれる10の戒めですが、この手紙を書いたパウロは「その他どんな戒めがあっても、『隣人を自分のように愛しなさい』という言葉に要約されます。愛は隣人に悪を行いません。だから、愛は律法を全うするのです」（13：9-10）と断言しています。つまり、これ一つで十分だ、というわけです。

しかし、「愛」という言葉は、日本語では親子や恋人などの極一部の特定の関係でしか使いませんし、さらにはその関係の中であっても、離婚や虐待や、DVという現実があります。そのような中で「愛」という言葉が語られると、ますます分からなくなってしまうのではないのでしょうか。むしろ、聖書に記されているこの「アガペー」という言葉は、「愛する」と訳すよりもむしろ「大切にする」と訳す方が、分かりやすいと思います。「隣人を自分のように大切にする」。たとえ苦手な相手、好きになれない相手であっても、尊重したい。自分が大切にされたいと思うように、相手のことも大切にする。自分がしてもらいたいと思うことを、人にもしてあげる。言葉にすると単純なことです。その単純なことができるようでありたいと思います。しかし、実際には、そんな単純なことができていない自分自身があります。周りの人を大切にしたい、他人に優しくしたいと思っているのに、できなかつたり、自分のことも大切にできないで、自暴自棄になってしまったりすることもあります。過去の傷から目を背けるために、その傷を隠したり、覆ったり、様々なものを身につけ、着飾ったりしています。今を生きている私は、果たして本当の自分自身を生きているだろうか。私が生きている自分と思っているのは、実は「立場」に過ぎないのではないか。私が日々は無意識的にか、意識的にか従っている権威は、本当に神の下にある「本物の権威」なのか。実は見せかけの権威なのではないか。

私たちにはできることは限られています。時間も力も無限ではありません。むしろ、できていないことや、失敗したことばかりかもしれません。かつて失ってしまった大切なものも沢山あります……。それでも今日も私たちは、最も身近な所で、自分自身とその隣にいる人たちを大切にする歩みへと、呼ばれ、招かれています。「大丈夫、私はあなたと一緒にいる」……。全ての命を祝福し、力を与えられる神様と共にあって、私たちはその歩みへとここから導かれて行きます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 10月10日 聖霊降臨節第21主日礼拝

礼拝出席 大人5名 中継動画再生数 14回  
 献金 大人5,000円 感謝

◎次週 2021年10月24日(日) 収穫感謝礼拝(聖霊降臨節第23主日礼拝)

招きの詞 詩編 19編 2-5a節

聖書 創世記 2章 4b-9、15-17節

メッセージ 「天地の恵みによって生かされて」 牛田匡牧師

賛美歌 21-6番、こ改-102番、21-386番(いずれも©日本基督教団出版局)

礼拝はインターネットで中継配信いたします。「収穫感謝礼拝」として、お米やお野菜、果物などの大地の恵みをお献げくださる方は、お持ちください。献げられた収穫物は、釜ヶ崎支援のため、いこい食堂に献品致します。なお礼拝後には「おにぎり作り」も行い、いこい食堂にお届けする予定です。どなたでもご参加ください。

◎お知らせ

- ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う「緊急事態措置」は、9月30日で解除されましたが、ウイルスが存在しなくなったわけではありません。これまで通りご自身が感染しないためにも、また他人に感染させないためにも、そしてまた医療崩壊をさせないためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。教会では換気やマスク着用など感染予防に留意しながら礼拝をいたしますが、教会にいらっしゃる際には、ご自身の体調にご注意いただき、検温、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあげた着席をお願いいたします。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。

- ・10月26日(火)10時~16時に、日韓キリスト教「障害者」合同交流セミナー2021がオンラインにて開催されます。

参加費は無料ですが、参加申込が必要です(右QRコードより)。



◎ 次週以降の行事予定

	会場	メッセージ	行事
10/24	久宝寺地区 久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)	牛田牧師	収穫感謝礼拝 おにぎり支援
10/31		牛田牧師	誕生者祝福式 (河内地区壮年会15時~)
11/7		牛田牧師	(愛児祝福月間)ユーカリスト 召天者記念礼拝 教会を考える会
11/14		水谷牧師	(愛児祝福月間) (王寺墓地・墓前礼拝14時~) (第二好意の庭・大阪好意の庭 永眠者記念礼拝15時~)

**第10回 日韓キリスト教「障害者」合同交流セミナー 2021**

**支え合ういのち**  
——新型コロナ危機の中で

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。  
(ローマの信徒への手紙12:15)

感染症と同じく、障がいも、長い間、神の審判や懲罰とみなされてきました。20世紀以降、すべての人間の命は神に託されて造られたという聖書的な理解に基づいて、障がいがある人は、神のイメージとしての尊厳をもつ「主体的な人格」であるとの認識が、平穏ながら広まってきました。

しかし、改めてコロナ危機という新しい事象の中で、いま私たちはどこに視点を保ちながら歩むべきでしょうか。私たちの日常と社会を激しく変容させてしまったコロナ危機の時代を、「障害者」として、また健常者として、どのように乗り切り生きていくことができるでしょうか。教会・社会の現状と課題について、そして私たちが歩むべき道についてともに考えたいと思います。

●日 時：2021年10月26日(火) 午前10時~午後4時

●開催方法：日韓双方に拠点を設けZoomでおこないます。全プログラムに手話通訳がつきます。

●プログラム

- ・開会礼拝 李啓潤氏(NCCK 障がい人小委員会、障がい福祉宣教協議会会長)
- ・主題講演 「新型コロナウィルスとキリスト教、障がい者との関わり」 講師：林思郁氏(日本バプテスト連盟宣教研究所長)
- ・質疑
- ・現状報告と課題①韓国側(李啓潤氏、NCCK 障がい人小委員会)
- ・現状報告と課題②日本側(高野輝委員長)
- ・パネルディスカッション 司会・進行 北村智史
- ・閉会の祈り

●参加申し込み

NCCホームページ <http://forms.ele/SWmeA6fwHdE8X8>  
 または右のQRコードよりお申し込みください。  
 後日、事務局より参加のためのZoom ミーティング参加情報をメールでお送りします。  
 また、後日講演録と報告を兼ねた冊子を用意しますので、必要な方は申し込みの際にその旨ご記入ください。

●参加費 無料  
 ただし、協賛される方は以下のゆうちょ銀行振替口座へお振り込みをお願いいたします。  
 振替口座番号は以下の通りです。  
 口座名 NCC 障害者と教会問題委員会 口座記号番号 00170-1-58810

主催：日本キリスト教協議会「障害者」と教会問題委員会  
 韓国キリスト教協議会 障がい人小委員会